

第3号様式

令和6年度 第5回中央公民館運営審議会 会議録

(令和7年4月10日作成)

1 開催日時

令和7年3月13日(木) 午後3時 ～ 午後4時30分

2 開催場所

中央公民館 4階 第2集会室

3 出席者

(1) 委員 沼波委員、山中委員、三宅委員、宮崎委員、中野委員、
染谷委員、寺田委員

(2) 事務局 中央公民館長、浜町公民館長、宮本公民館長、海神公民館長、
中央公民館長補佐、中央公民館事業担当者

4 欠席者 なし

5 議題

「公開」

(1) 12月19日から3月31日までの事業報告

「非公開」

(2) 社会教育関係団体の登録について(新規) 2件

6 傍聴者数 なし

7 決定事項

(1) 12月19日から3月31日までの事業報告を承認

(2) 社会教育関係団体の登録(新規) 2件を承認

8 議事 次ページより

9 その他 次回は、令和7年4月24日(木) 午後3時から 中央公民館

10 問い合わせ先 中央公民館 047-434-5551

令和6年度 第5回 中央公民館運営審議会
議事録

日	時	令和7年3月13日(木)
		午後2時54分～4時30分
会	場	中央公民館 4階 第2集会室

午後2時54分開会

○事務局（中央公民館職員）

では、定刻前になりますが、全員出席されましたので始めさせていただきます。本日、館長補佐の小原が不在のため、私、猪瀬のほうで事務局の進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

会議を始める前に資料の確認をいたします。本日の資料としまして、会議次第と12月19日から3月31日までの事業報告、次に、社会教育関係団体の新規登録申請として2団体の資料でございます。こちらの資料につきましては、個人情報が含まれるため、会議終了後に回収させていただきます。次に、令和7年度の審議会日程になります。最後に、会議資料ではございませんが、『船橋の社会教育』の配付依頼がありましたので、後でお渡しさせていただきます。お持ち帰りいただければと思います。

また、会議録作成のため（株）トークアトラスのスタッフが同席いたしますので、ご了承ください。

それでは、順次次第に沿いまして進めてまいります。

審議会開会に先立ちまして、沼波委員長よりご挨拶をいただきます。

○沼波委員長

こんにちは。早いものでもう1年ということで、今期最後の運審ということですが、特に今日は社会教育関係団体の登録が2件あるんですね。これを含めて審議を進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局（中央公民館職員）

ありがとうございました。

続きまして、中央公民館長、江口よりご挨拶を申し上げます。

○中央公民館長

よろしくお願いいたします。今年度最後の公民館運営審議会になります。今日はやや暖かいというか、ちょっと肌寒いところもありますけれども、こここのところ寒暖を繰り返しまして、春に向けて一步一步近づいているなと思うところがございます。今日、先ほど暖かくなるということで、水分もあるので適宜とっていただいて、健康のほうを留意願いたいと思います。

今回は、事業報告と社会教育関係団体登録2件がございます。また、令和7年度の事業計画などにつきましては、今度の4月に行われます第1回の公民館運営審議会で、新たなメンバーで説明させていただければと思います。本日も円滑な進行にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○事務局（中央公民館職員）

それでは、事務局にて進行いたします。

ただいまから、令和6年度第5回中央公民館運営審議会を開催いたします。

本日の審議会は、船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立となります。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

本日の傍聴者はありません。

それでは、議事に入りますが、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が会議を整理することとなっております。沼波委員長、議事進行をお願いいたします。

○沼波委員長

では、進めさせていただきます。12月19日から、期の途中になってしまいますが、今年度3月31日までの事業報告を各館よりお願いいたします。中央公民館からよろしくお願ひいたします。

○中央公民館長

中央公民館です。よろしくお願いいたします。

まず、事業報告としまして、青少年の部でございます。「ふなばしハッピーサタデー」は、記載の3件を実施いたしました。3月1日の参加者数の加筆をお願いいたします。合計が50名、男28、女22になります。ハッピーサタデー事業では、この1年間、理科実験や工作、料理など、様々な体験ができる場を提供してまいりました。次年度以降も引き続き子供たちが興味を引くような内容を考え、進めてまいりたいと考えております。

次に、成人の部でございます。「リカレント教育講座(アナウンサー編)」については、今週の土曜日から開催ですので、未記載となっております。

「家庭教育セミナー」につきましては、2件実施いたしました。資産形成とプログラミングを実施したところです。資産形成に関しまして、ひと昔前、公民館でお金に関する講座を実施するというのは、なかなか日本人の道徳というか、ちょっと卑しいとかそういう感じで難しいところだったのですけれども、2022年4月の学習指導要領の改訂により、小学校、中学校、高校におきましても金融教育が義務化されました。様々な情報を提供する事業として取り込みやすくなったことかなと考えております。また、プログラミングは、子供たちの覚えの早さに講師も驚くほどの上達ぶりで、子供たちの可能性を再認識いたしました。

ちょっとプログラミングとは離れるのですが、この1月、若松中学校の生徒さんが職場体験ということで、2日間中央公民館に来館いたしました。その際、事業担当のほうからチラシの作成であるとかポスターの作成をお願いしたところ、パソコンを使ってあっという間にきれいなものができてしまいました。大人がつくるより創造力がいいというか。そういうことで、子供たちのそういう可能性、知識に驚かされたところがございます。

次に、高齢者の部です。「中央ふれあい学級」は、記載の3件を実施し、昨日閉講式を迎えました。昨日の参加者数等の加筆をお願いいたします。合計が94、男が19、女が75、天候は曇りです。昨年度もコンサートや落語を実施したところですが、昨年度は学生のみでの参加で、人数が少なく、演じていただく方々に大変申し訳ないなという感じがあったのですが、今年度は1月から3月を公開講座で実施したことで、多くの参加者があり、活気あふれるものになりました。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、予定どおりの3月19日をもって終了する予定です。

私事ですが、健康部主催の地域包括ケアシステム予防部会という会議に参加させていただいております。高齢者向けのアンケート結果から、この講座に参加されている方々は、フレイル予防につながっているとの結果が出ているとのことです。次年度も引き続き協力してまいりたいと思います。

続きまして、その他の部です。「サークル活動見学・体験月間」は、70団体が参加し、75名が見学・体験にお越しいただきました。そのうち24名が入会いたしました。団体支援の一助となったことと考えます。また、入会された方が長く会の活動に参加いただけることを願います。

次に、「青年教室『若草の会』」です。こちらは、2件実施いたしました。3月2日の参加者数等の加筆をお願いいたします。合計66、男53、女13、天候は晴れです。障害をお持ちの方が交流する場として重要な活動の場となっております。ここ近年、スタッフ側の高齢化があると聞いているところですが、公民館におきましても、引き続き活動が継続されるよう支援してまいりたいと考えております。

次のページの「サンデー・コンサート」です。こちらは12月、1月、2回実施し、3月23日に最後の演奏会を予定しております。こちらは生の音楽を身近に鑑賞できるコンサートであると、毎回評判のものでございます。次年度は中央公民館が12月以降改修工事により休館が予定されておりますので、例年よりも前倒しでの実施を考えているところでございます。

次に、「巡回児童ホーム事業」です。こちらの3月6日の参加者数等の加筆をお願いいたします。合計が26組55名、男19、女36、曇りです。0・1歳児を対象としたぼかぼか広場、小学生を対象としたわくわくタイムを実施いたしました。同じ地域で子育て中の親同士が情報交換できる貴重な場となっております。また、中央公民館区には児童ホームがないため、小学生が遊びや工作を行える場としてにぎわいを見せておりました。

次のページの「出張子育て支援事業」です。こちらにも参加者数等の加筆をお願いいたします。3月6日、13組、合計28名、男10、女18、曇りです。南本町子育て支援センターとの共催で行われており、ベビーマッサージ、小児科医の講話やコンサートなどを行い、子育て世代が集う貴重な機会となっております。

次に、「子育てひろば 親子deリトミック」、こちらも参加者数等の加筆をお願いします。3月10日、14組、合計が29、男が5、女が24、晴れでございます。音楽に合わせて体を動かすリトミックを実施いたしました。いずれにせよ、子育てに関する事業につきましては、大変ニーズが高いものであるということを実感しております。引き続きこちらの事業は継続してまいりたいと思います。

次に、「卓球開放」の3月5日の人数を加筆願います。合計27名、男15、女12です。天候は雨です。今年度から実施しましたがけれども、好評であることから次年度も実施の方向で考えております。

次に、「地域課題発見・解決事業」は、2件実施いたしました。1件目は、「聴覚障害の理解とやさしいまちの人づくり」ということで、こちらは定員を超える参加がございました。聴覚障害の方を取り巻く現状や課題などをお話いただき、参加した方々が考えさせられる場面がありました。多様な方々への理解が深まる講座であったと考えております。

もう1件は、「古文書を通して見る近世史講座 第2回」でございます。こちらにつきましましては、広く広報され、定員を超える応募があり、お断りする場面もありました。古文書につきましましては、知られていない部分を読み解く面白さに興味を引いたことだと考えております。男性の参加率も多く、ふだん公民館の利用が低い男性が新たに利用していただければと考えております。

次に、後援事業を2件実施しております。1件目は「ミュージカル 第1回発表会」です。こちらは昨年度の「市民の力活用事業」で承認され、その後、スタッフや演者を募り、今回の発表に至りました。大変多くの観客を迎え、盛大に行われました。2件目の「公開医療講座」は、骨の健康生活に関してお話をいただきました。こちらにつきましましては、中央公民館、また海神公民館でも定期的の実施されておりますが、毎回多くの参加者があり、次年度も共催等の申請を受けていることから、引き続き支援していきたいと考えております。

最後に、「サンバの魅力発見 リズムを体験～みんなで踊ってみよう～」でございます。こちらは、生涯学習コーディネーターの協力により実施したものです。幅広い年代の方にご参加いただき、アンケートでは「よかった」との回答が100%でした。こちらも次回の開催を予定しているところでございます。

中央公民館からは以上でございます。

○沼波委員長

ありがとうございました。

では次、浜町公民館、お願いいたします。

○浜町公民館長

浜町公民館でございます。

まず初めに、青少年の部、「遊びの学校・ハッピーサタデー」でございます。こちらは、

地域で活躍される様々な団体の方にご協力をいただきまして、様々な講座を地域の子供たちに提供できたと考えております。1月11日と2月23日で行いましたが、2月の分は「わんぱくフェスタ」、こどもまつりを行っておりますので、下のほうでご説明させていただきます。

引き続きまして、「わんぱくフェスタ」です。こちらはこどもまつりでございます。当日、近隣の船橋港親水公園、隣のショッピングセンター、ビビットスクエアのほうでも同日に偶然子供のイベントと重なりまして、この「わんぱくフェスタ」は実行委員を中心として検討、実施していただいているのですけれども、みんなで非常に不安な中スタートさせていただきました。ただ、蓋を開けますと、当日は逆に子供であふれ返る会になりました。浜町地区にたくさんの子供が集まったようでございます。人数のほうも、開いてみると足し上げの数で4,168名、昨年並みの人数に来ていただきまして、非常に楽しい時間となりました。

続きまして、高齢者の部、「いきいき健康大学」です。こちらは年10回行っております。徐々に後半に向かって参加人数も減っていくのですけれども、最後の3月11日、先日行いましたときには、60名近くの方に来ていただきました。私が見ていますと、高齢者同士の横のつながりも生まれているようでございまして、この会が始まる2時間くらい前にみんな集合しまして、20人くらいで公民館内でボッチャをしております。わいわいして、中でお昼ご飯を食べて健康大学に来られるという方が多数いらっしゃいますので、いい仲間づくりの助けにもなっているのかなと感じているところでございます。来年も引き続き行っていこうと思います。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。こちらは健康づくり課の協力の下、行っております。講師の方も非常に真剣に、毎回必ず健康づくり課の職員も来て、熱心に活動を行っております。また、ボランティアの方たちも非常に熱心に真剣に取り組んでいただきまして、たくさんの方に参加者に来ていただいているところでございます。

ごめんなさい、一つ戻りまして「いきいき健康大学」です。3月11日の人数が、先日ですが確定しておりますのでご報告させていただきます。男性7名、女性52名、合計で59名でございます。

続きまして、「ふれあいいいきいきサロン華の会」です。こちらは、湊町地区社会福祉協議会の方が中心となり、毎回熱心に活動いただいているところです。参加人数、3月5日の分の加筆をお願いいたします。男性2名、女性21名、合計で23名でございます。こちらでも人手が足りないところをたくさんの方ボランティアの方が熱心に活動いただきまして、にこやかに、晴れやかに、いつも会を催していただいているところです。

続きまして、その他の部、「すくすく広場」です。こちらは0歳児の親子を迎えているイベントでございますが、浜町地区はこの希望者が割と多くて、いつもキャンセル待ちが出ております。リピーターも多く、0歳児が1年過ぎますと1歳児になるわけで、寂しが

っておりましたので、今回時期はあれでしたけれども、この「すくすく広場」のお兄ちゃん、お姉ちゃんバージョンの「どんぐり広場」というものが今年の中旬からスタートしておりますので、来年も引き続き行われると思います。

続きまして、「若松小・中学校家庭教育セミナー」です。こちらは、1月に「SNS安全教室」を行いました。令和5年度のときには、このSNS安全教室を夏場に行ったのですが、今回は冬の1月21日に行いました。非常に寒い中でございましたが、たくさんの方に来ていただきまして、男女比の統計が取れていないのですが、合計で150名来ております。子供につきましては事業の1つで、同時にその保護者の方も来ていただきまして、SNSの安全について学ぶ会となりました。

続きまして、「こんさーと in 風のまち浜町」です。こちらは市全体で行いました地域ふれあいコンサートの一環事業ということで実施いたしました。こんさーと in 風のまち浜町実行委員会が中心となって、企画から運営まで行っております。この中で今回来ていただいたのは、「ヴォーカル」となっていますが、オペラのソプラノの歌手と尺八とピアノという異色のコラボレーションということで募集をかけまして、満員で行うことができました。マイクを使わない、声と尺八とピアノということで、音量も人間の底力を感じると言いますか、マイクを使わないのにすごい迫力が出ておりまして、みんな感動した、そんな会になりました。

浜町公民館からは以上でございます。

○沼波委員長

ありがとうございました。

次、宮本公民館、よろしく願いいたします。

○宮本公民館長

宮本公民館です。12月19日以降の事業について、ご報告いたします。

まず、青少年の部、「ハッピーサタデー」でございます。1月には新春の昔遊びを現代風にしました、読み手のポーズを見て札を探すという面白がるたと、1メートル以上ある大きなだるま落としを3つ並べまして、子供たちに楽しんでいただきました。「おかしなお絵かき～食べれるアート！？」は、ウエハースを土台にラムネやグミなど、市販のお菓子をアイシングで張り付けて、思い思いのお絵かきを楽しんでいただいております。

「みやもとこどもまつり」は別掲でございますので、引き続きご説明いたします。こちらは宮本児童ホームと共催し、多くの社会教育関係団体の皆様にご協力いただいて無事開催することができました。船橋ばか面おどりがオープニングとして始まり、日大鉄道研究部の本格的なNゲージやプラレールの展示に子供たちは非常に大興奮しておりました。また、児童ホームではストラックアウトや将棋、空手などの体験もお楽しみいただいております。模擬店の店舗数は少なかったのですが、餅つき体験も参加いただいたり、子供たちの元気な声が響いておりました。

公民館のほうでも図書ボランティアさんに駄菓子店を出店いただきまして、午前と午後の部に分けて販売し、完売しております。天気と人数の追記をお願いします。天気は晴れ、人数はすみません、まだ集計中ですが、延べ人数で約5,000名となっております。晴天とはなりましたが風が強く、出足が悪くなってしまいました、昨年度は5,926名と統計があったので、若干減ってしまったかなというところはございます。

次に、成人の部ですが、「スマホアプリ活用講座」です。こちらは、ご自身のスマートフォンを活用してアプリをご利用いただくという、非常に人気のある講座となっております。こちらキャンセル待ちが出ましたけれども、iPhoneとandroidと別れて、それぞれ先生のほうに実際アプリをダウンロードしたものの操作をいただいております。こちらについては来年度以降も継続していきたいと考えております。

次に、「家庭教育セミナー」については、1歳から3歳の乳幼児と保護者に遊びをテーマとした3回の講座を開催しております。親子で触れ合う遊びが多く、赤ちゃんの笑い声が会場から聞こえておりました。こちら非常に人気の講座ですので、継続していきたいと考えております。

次に、高齢者の事業につきましては、「宮本寿大学」が残り3回のうち2回を終了しております。映画観賞会では、南大東島での実話を基に生まれたストーリーで、三吉彩花さん映画初主演の作品をお楽しみいただきました。3月19日の閉校式では、皆勤賞の方々に表彰と記念品の交付を予定しております。前回まで11名の方が対象となっておりますので、3月に出席いただきましたら、この方たちに記念品等を贈呈予定でございます。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は掲載のとおりです。

「介護予防教室」は、3月12日の実績について追記をお願いいたします。天気は雨、人数は男性1名、女性7名、合計8名でした。

続きまして、次のページをお願いいたします。「地域ふれあいコンサート」は、第29回ふなばし音楽フェスティバルの一環で開催されました。パーカッション、ギター、バイオリンの共演で、観客の皆様も手拍子で参加されるなど、非常に盛り上がったものでございました。また、12月末に移動座席の段差に手すりが設置されましたので、こちらについても来館された方から改善されてよかったとのお声をいただいております。

続きまして、「みやもと三百人劇場」、3月29日の分、こちら大変人気でございまして、キャンセル待ちが多数出ている状況でございます。

「スタインウェイを弾いてみませんか」、こちらは即日満員になっております。3月29日、30日に高級なピアノのスタインウェイを一般の方に弾いていただく講座になっております。

続きまして、「乳幼児親子わくわくタイム」は児童ホームがメインですが、折り紙でお野菜やいろいろな果物を児童ホーム職員がつくったものを、お店で売るという形のを明日予定しております。

「親子の趣味教養講座」は、1枚の紙から作成するペーパーフォトフレームづくりを開催いたしました。募集当初はなかなか申込みがなかったため、対象年齢を4歳から3歳まで拡大し、児童ホームや宮本第一保育園の方にも周知を依頼して開催に至っております。結果としましては、非常にお父様が多かったので、いつも一緒にいられないお父様とお子様、楽しい時間を過ごしていただけたのかなと思います。

続きまして、「消防訓練」については、消防法に基づいて年2回開催するものですが、今回は消防設備点検事業者においでいただいて、火災発生を想定として避難、通報訓練のほか、水消火器を使用した消火訓練を実施しました。当日は太極拳サークルの皆様にご参加をいただいております。消防設備点検事業者より火災による避難での注意点などの講評もあり、有意義な訓練となっております。こちらについて、天気と参加人数の追記をお願いいたします。天気は雨、参加者は男性7名、女性27名、合計34名でした。

続きまして、次のページ、「宮本卓球開放」について、期間中の4回分の参加人数の追記をお願いいたします。こちらは男性27名、女性9名、合計36名でございます。

「宮本公民館ほんの森」についてですけれども、2月に新刊本を38冊購入し、蔵書の充実を図ったところです。また、みやもとこどもまつりから開始しましたが、古くなった本について、リサイクルブックコーナーを設けておりまして、自由に持ち帰っていただけるように継続して設置しているところでございます。

最後に、「公民館報 みやもとかわら版発行」ですけれども、こちらは2月28日、みやもとこどもまつり特集号を発行し、ちいき新聞に折り込みをいたしました。約1万6,000部折り込んでおります。

宮本公民館からの報告は以上です。

○沼波委員長

ありがとうございます。

次に、海神公民館、よろしく願いいたします。

○海神公民館長

よろしくお願ひします。海神公民館です。

初めに、青少年事業、「ハッピーサタデー」です。1月18日は、手話でカルタ取りをしました。最初に聴覚障害者の講師が聴覚障害の種類とか自身の経験のお話をされて、その後一緒に来られた保護者の方も一緒に参加し、カルタの絵柄をまず手話で覚えて、実際にカルタ取りをするということでした。カルタ取りは大人のほうが声を出してしまっていて、注意を受けながらも楽しくカルタ取りをすることができました。2月23日は、「こどもまつり」です。児童ホームと共催で行いました。子供たちはとてもゲームに夢中になって、何度も並んでいる楽しそうな姿が見られました。昨年に比べ参加者が少なかったのですが、今年は未就学児の親子の参加が多く見られたような気がします。新しい利用者を取り込むことができたのかなと思いました。今年度のハッピーサタデーは、とても内

容が充実していたと思うのですが、参加者がとても少なくて残念だったなという気がします。日程なのか周知の方法なのか、検証しまして来年度も実施していきたいと考えております。

次に、成人事業です。飛ノ台史跡公園博物館と共催の「考古学講座」です。こちらは毎年人気の講座だけに、やはり多数の参加者でキャンセル待ちも出ていました。講演内容が飛ノ台の企画展と関連していたことで、参加した方は飛ノ台博物館にも来館し、公民館と博物館で相乗効果となったと思います。

次に、「多文化共生事業」です。管区内に在住しているバングラデシュ出身の方に家庭料理と文化を教えていただきました。料理は皆さん大満足していただきました。文化のほうは、講師の方がバングラデシュの衣装を持ってきてくださいましたので、試着したり、それぞれ写真を撮ったりしまして、講師と参加者同士のコミュニケーションも非常によく、満足度がとても高かったです。

次に、「家庭教育セミナー」です。今年度は、親子で実体験をテーマに、2月に和菓子づくり、3月に踏台づくりを行いました。事業が終了しましたので加筆をお願いいたします。3月1日、天気晴れ、男性4名、女性1名、合計5名です。どの講座も参加者の満足度は高く、好評でした。子供の体験提供だけではなく、親子で一緒に行ったことでより充実した事業となったのかなと考えております。

次に、「デジタルデバイド対策事業」です。こちらは記載のとおり実施いたしました。

次に、「地域防災講座」です。避難所の生活のルールや注意すべき点等を学び、ワークシートを使って参加者自ら非常持ち出し品を考えてもらいました。また、避難所をイメージするために、公民館の備蓄品を展示して皆さんに見てもらうことができました。今後、避難所運営委員会を立ち上げる町会・自治会の一助にもなったと思います。こちらの人数の記載をお願いいたします。3月6日、当日は曇り、男性11名、女性6名、合計17名です。

次に、高齢者事業、「海神寿大学」は、記載のとおり実施いたしました。3月19日に落語会をやって最後となります。

次に、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。こちらでも終了しましたので、人数の記載をお願いします。3月10日、天気晴れ、男性11名、女性33名、合計44名です。

次に、「海神はつらつ健康体操」、2月28日の記載をお願いいたします。天気が晴れ、男性2名、女性40名、合計42名で最後の回を終えました。体操をしてお話をして、毎回皆さん笑顔でお帰りになります。参加者の継続希望が多いのと、とても好評な事業なので、サークル化も考えたところですが、なかなかそこまでは至りませんでした。事業として来年も継続いたします。

次に、その他の事業、「卓球開放事業」です。記載のとおり行いました。参加者の健康増進、仲間づくりの場の提供ということで、こちらも来年実施いたします。

次に、「海神公民館ボランティア活動支援事業」です。こちらは、3月11日の予定でしたが、明日14日に変更となりました。

次に、「なかよし広場」です。内容によって参加者に差が出るという課題があったものの、満足度は高く、こちらも好評でした。足育講座はとても内容が充実していたので、参加者が少なくとても残念だったなと思っております。

最後に、通年事業、「海神公民館だより『かいじん』」は、こどもまつりの特集号を掲載し、管区内小中学校、また自治会、商店街に配布いたしました。

説明は以上です。お願いします。

○沼波委員長

ありがとうございました。

では、委員の方々、ご質問あればお願いいたします。いかがでしょうか。

山中委員、お願いいたします。

○山中副委員長

中央公民館の「子育てひろば 親子deリトミック」ですけれども、会場はどちらで。

○中央公民館長

和室です。

○山中副委員長

了解です。

それから、もう一つ、聴覚障害のやつです。これは定員を20%超える大盛況で、大変よかったと思うんです。いわゆる障害者に関係したいろいろな講座が、ほかでもやっていますけれども、もっと充実していいのかなという気はします。一つ、参加122名ですが、アンケートは取られていますか。

○中央公民館長

取っています。

○山中副委員長

市内と市外で、参加者はどれくらいの対比になりますか。

○中央公民館長

住所までは取っていないのですが、ただ中途難聴者協会の方、もともと耳がご不自由な方も半分くらい来られているので、かなり広い範囲で、市川辺りまで来ているのかなというところです。

○山中副委員長

そうですね。これはすばらしいと思いました。

○中央公民館長

地域課題発見としてここでプレゼンしていただいて、委員の皆様にご了承を得て行ったものですので、大変よかったと思っています。

○沼波委員長

これは継続を考えていらっしゃるのですか。

○中央公民館長

まだそこまではないのですが、例えば夏過ぎですか、パラアスリートというか、目の不自由な方を呼んでというのもやっていますので、そういう多様性の共生社会の実現、多様性を知るということで、中央公民館としては、結構障害者に的を当てたものが今年度は多かつたかなと考えているところです。

○沼波委員長

船橋市にお住まいの方は、人口的に見てもそういう障害をお持ちの方が増えているんでしょうね、きっと。

○中央公民館長

そうですね。耳が聞こえない方も、ふだん見た目には絶対私たちも分からないし、実際話しかけても分からなかったりします。あとは、今特に、議会でもこの前話題になったのですが、香害といって香りの害、トイレの消臭剤が駄目だとか、洋服の柔軟剤が駄目だという方がいらしたり、結構そういう多様な方がいらっしゃるので、いろいろな講座をやるにも難しいと考えてしまうところです。

○沼波委員長

でも、ぜひ続けていただけたらと思います。

いかがでしょうか、皆様、何かありますか。

○山中副委員長

浜町さんの「わんぱくフェスタ」ですが、飲食を伴う模擬店というのは出店がありましたか。

○浜町公民館長

はい、ありました。

○山中副委員長

了解です。ありましたと言われると、それ以上突っ込めなくなってしまう。「どんなの？」と聞くのも何だし。

○浜町公民館長

内容的には、焼きそば、すいとん。

○三宅委員

つくりました。

○浜町公民館長

あとは、ホットドッグ的な菓子パンといますか、温めて食べるタイプの。

○三宅委員

お総菜パンみたいな。

○浜町公民館長

それとお汁粉、ホットコーヒー。

○山中副委員長

結構充実しているのね。ほかはこういった場合はいかがですか。

○海神公民館長

海神は、炊き込みご飯とチョコバナナと綿菓子でした。

○沼波委員長

チョコバナナはいつも人気ですもんね。

○海神公民館

ボーイスカウトさんの。

○沼波委員長

そう、ボーイスカウトの人たちがやってくれます。

○山中副委員長

昔はものすごく模擬店がたくさんあって、10年ちょっと前くらいだったかしら、ノロウイルスがワッとあって、それで一気に下火になってしまった。それからの復活がすごくもどかしくて、今年もノロウイルスが少し騒がれていたから、模擬店はどうなのかなと、ちょっと頭の片隅に起きたけれども、今これを伺っていて、結構浜町さんはバラエティーがあるなと思いました。

○中野委員

すいとんというのは、毎年のようにやっていたらっしゃるんですか。

○沼波委員長

三宅さんからお話を聞いたほうがいいかもしれない。

○浜町公民館長

では、私から。去年は実はカレーライスがあったんです。子ども食堂さんがカレーライスをされたのですが、今回事情がございまして、近くのイベントのほうに行かれました。今回私のほうから委員長にご相談させていただきましたところ、私がすいとんをやりまうと言っていただけの案が出まして、実際にやっただき、売り切れてしまうので、その場でまたつくって、また売ってを繰り返していました。

○三宅委員

寒かったので売れました。

○浜町公民館長

来年は子ども食堂さんの参加によって、どうなるかというところだと思います。

○沼波委員長

天気も大事ですもんね。

○中野委員

公園とビビットさんの日程調整みたいなものは難しいんですか。

○浜町公民館長

ビビットさんのほうは企業ですので、日程調整は難しいと思います。よくある、空いているフロアのところで子供商店街みたいなことを、子供向けのバザーみたいなことをやったようです。親水公園につきましては、調整というよりも手違いと言いますか、間違えてしまったという感じかと思います。ごめんなさい、分かりません。調整は少し難しいと思います。

○中野委員

何かちょっともったいないというか、思ったので。

○染谷委員

いいですか。

○沼波委員長

どうぞ。

○染谷委員

今の公民館事業の中の出店のバザーですけれども、公民館以外でいろいろなところの催し物って同じようにあるじゃないですか。何が言いたいかといったら、地元の団体さんが協力して、公民館事業に参加して、自分たちでつくる。片や、電話一本でこの日に出店しませんかみたいな感じの、いわゆる車でさっと来て当日やるという、その違いをはっきりしていかないと、何のために公民館の中でそういうものを作って行くのかなというのを感じるんです。皆さんはどうかと思いますけれども。

やはり公民館というのは、何か災害があったときには避難所や一時待機場所になったりすると思うんですよね。そういうときに参加されるのは地域の地域の方々なので、そこの持っているパワーというか力を、ふだんからこういう機会に一生懸命参加してもらってやるところに非常に価値があると思うんです。ですから、そういう点でいくと、今各公民館さんで取り組んでいる形というのは非常にいいのではないかなと、地域の方の応援と一緒にできるということがすばらしいなと思います。

○沼波委員長

今、災害のニュースとかが流れていますから、そういう協力で進めていくというのはすごくいい。急にというのは難しいですもんね。少しずつ進めて。

○染谷委員

その訓練の場所でもあるのではないかなと思うんですけどね。

○沼波委員長

各地域、青少年団体とのつながりはありますから、ボーイスカウト、ガールスカウトもあるし、青少年の相談員の方たちの協力もあるし、少しずつそれは進んでいるかなと思いますね。

○染谷委員

そういう地元の方々というのも危惧をお持ちですから、それも大きいですよ。

○沼波委員長

結構お年寄りもお願いするとすぐ動いてくれるので、いざという時のために、徐々にそういうあれを、もうちょっと詰めていくといいかもしれないですよ。

いかがですか、ほかに。

○山中副委員長

これは公民館にというよりも、実情を聞いてみたいと思うのですが、「家庭教育セミナー」で、SNS安全教室はすごく大事だなと思う。

今日、警察庁の発表が出て、18歳以下のSNSを通じての犯罪の中で、性被害についての数字がマスコミで発表になっていましたけれども、3年前と比べて4倍くらいに増えているんですってね。これは把握されている数字だけだから、ちょっと記憶が定かではないんだけど、3年前だか4年前は34件だったか36件だったかで、去年は134件、これが小学生だけ。プロフィールだとか、遊びというかゲームというか、ゲームの仲間を募るというような形のサイトというか、その中で結局被害に遭ってきている。その増え方をかなり深刻に捉えているということ。

これは事件化されたものだけだから、恐らくその10倍、20倍という被害はあるだろう、もっとかもしれないけれども。今、大人だってカンボジアまで連れて行かれてしまうとか、そのほかにもこのSNSに絡んでの被害というのは、小学生だけではなくて、年寄りは詐欺に遭うし、無茶苦茶な世の中になってきている。このSNSに関する啓蒙というのは、先生、学校ではどうなのでしょう。

○寺田委員

学校で今タブレットを、iPadが1人ずつに与えられているので、本当にそういう操作というのが我々よりも子供のほうが詳しくて、できるようになっている。

この被害というのは本当に身近なもので、実は、実際市内でもそういうことがあつたりしています。そういった操作ではないですけども、もちろんSNSは、山手線の中継で事件がありましたけれども、学校内でもタブレットを使って、例えば更衣室に生徒が設置するとか、要するに盗撮ですね。小学校でも、例えば録音機能を押したまま帰ってしまった、先生たちが放課後、例えば学年の先生が集まって会話をしているところ、そういったところも実は録っていたりということも実際にあつたり。

だから、コンピューターを使う時代になって、タブレットなど国がそういうのを配置していますけれども、正直、いいものか悪いものかということと本当に微妙です。だから、こういった安全教室を学校内でも行ってはいるのですけれども、家庭でそういう制限を設けているご家庭もあれば、ノータッチの親御さんもいるので、そうなる子供が好き放題やっているとか、そういうご家庭の判断ということも全然人によって違うところがあつ

て、本当に問題というか。

簡単に子供は写真を上げてしまったり、昨日もテレビでやっていましたけれども、目に何かものが映っていて、それが写真でこうやると文字が読み取れてしまうとか、場所が分かってしまうというのものもあるらしいです。子供ですのでそこまで全く考えていないと思います。

○山中副委員長

さっき、中央の江口館長が言われた、ポスターを中学生がばばっとつくってしまうというすごさがある一方で、犯罪の危険というのが隣り合わせになっている。これは公民館でできる仕事ではないんだけど、ただ、公民館事業の中で、さっきの聴覚障害ではないですけども、一つ一つ社会に啓蒙するという意味での事業がさらに充実していくといいなと。でないと報告を聞いている事業の、これは母親と子供、これは父親が参加して親子というのと、参加者が65歳以上だろうなというのを比較すると、年寄りの方がたくさん増えている。これはすごくいいことだけれども、一方で、それ以外の若手というか小中学生から、裾野の広がりをさらに追求していただけたらいいなという感じがしています。児童ホームがある宮本は、小学生やそれ以下も結構来ているけれども。

○染谷委員

関連してですけども、各公民館さんで年間行われているスマホ教室、各通信会社とコミュニケーションを取ってやられていて、多分大人中心だと思いますけれども、今、山中さんが言われたような問題になるような点、危険性が伴うような注意事項も、保護者である大人対象でもいいと思いますので、そういう観点でやっていただければいいのではないかなと思います。有料で開催しているところと、無料で平日やっているところもあるようですけれども、公民館さんのほうで何か依頼するのがあったら、そういうアプローチは可能性があるのではないかなと思います。

○沼波委員長

今後、この方面はさらに強化していただくということで。事件がこのところ本当に立て続けですものね。本当に家と学校と地域、みんなが一体で取り組まなければいけないことだとは思いますが、まずはでも家庭ですよ。

○山中副委員長

それでも日本は世界でトップクラスの安全な国と言われて、でも現実足元を見ていくと、かなり危険だなという兆候がたくさん現われてきていますよね。そういう話をする場ではないです、ここはね。

○沼波委員長

私、感じたんですけども、一時コロナなどがあって、幼児の事業、児童ホームの事業なんかもすごく減少しました。でも、今回これを見せていただいたら、結構定員を超えていたり、お母さんとお子さんの参加するものがすごく上向いているなと思ったんですけど

れども、それは公民館の方々も感じていらっしゃると思いますか。一時すごく落ち込んだかなと思ったんですね。

○中央公民館長

一時はやはり児童ホームも閉館になったり、公民館も閉館になったりしたのですが、徐々に回復はしていると思います。親子の事業とともに、ほかの事業についても若干コロナ禍前に戻ってきているような方向です。

○沼波委員長

でも、お年寄りにはもっと元気になってほしいですね。これを見るとすごく寂しいなと思いました。その辺の課題が、皆さんで出し合って何かいい案があるといいなと思うんですけれども、そんな感じを受けました。

○染谷委員

報告の中で、0歳児から3歳児、そういうところでの今言われたような参加者が多い。こどもまつりに参加していて感じるのが、数十年前に比べたら、ベビーカーで参加されている方が多いんですね。年齢がどんどん、地元の若い親がお子さんを連れてという参加になっている。それも公民館なんかで取り組んでいるところの対象が広がっている効果だと思うんですね。

○山中副委員長

この南部は船橋の中心部ですね。船橋はマンションがすごく増えてきて、もう既に今度できる高層マンションが1億超えだから、高くなっている。それでもマンションを取得しやすい。だから若い層が確かに増えていますよね。うちの近所だって一時、赤ちゃんの泣き声がしなくなった時期があったんですけれども、この数年は小さい赤ちゃんを連れて、今のベビーカーもそうだけれども、家でもって赤ちゃんの泣き声が聞こえるようになったんですよ。すごいことですよ、これは。どうでもいい話なんですけれども。

別なことを言おうと思っていただけ。失礼しました。

○沼波委員長

ほかの方、いかがですか。

○寺田委員

さっき聞こえる世界、聞こえない世界とあって、また、青年教室「若草の会」で障害がある人が構成しているものがありますけれども、この間、事件で知的障害のお子さんご家庭内で殺害されるという事件がありました。例えば知的障害などがあるお子さんご家庭は、親が悩んで悩んで、その方も迷惑がかからないように田舎のほうに引っ越して、最終的に殺害なんていうことがありましたけれども、本当にそういうご家庭は悩みに悩んでいると思うんですね。だから、こういった公民館を通して輪ができるような事業というのは、とてもいいと思いました。

○沼波委員長

海南はクラスもありますしね。

○寺田委員

はい。

○山中副委員長

身体的に見える障害と、聴覚に代表されますけれども、それ以外に知的な障害というのかしら、そういうのってご家庭の中で一人で悩んでしまうというケースがほとんどで、公的機関がうまくサポートできる体制、またそこに助けを求めることができない人がかなりいらっしゃるんですよ。厄介な問題ですよ、これは。でも公民館では何ともならないし、船橋市の福祉局側の問題になってくる。

でも、講座として一般の人に、いわゆるユニバーサルデザインではないですけども、あるじゃないですか、助けてほしいマーク、ここへあるやつね。ああいったものの知識を持っている人だとか、オレンジのリングだとか、いろいろそういうものがあるんだけど、知っている人がうちの近所でもほとんどいないですよ。民生委員をやっている、自治会の役員をやっているという——自治会の役員で知らない人がいますからね。だから、年寄りの独居の方だとか、認知症があるとか、いわゆる高齢者福祉のところはかなりカバーできているけれども、親子の家庭の中のものとは相当こぼれがあるみたいですね。いろいろ話を聞いたことがありますけれども、これは大変な問題ですよ。でも、ここには関係ないな、ここには。

○沼波委員長

宮崎委員はいかがですか。

○宮崎委員

僕が小学校、中学校のPTAに絡んでいた時期があって、そのときに、うちの小学校が、船小ですけども、特学の教室がありまして、年によって生徒数が違う。担当の先生に、何で年によってこんなに差が出るんだと言うと、先生の話ではその原因が、病気がはやって、多分お母さんのお腹の中にいるときにかかって、生まれた頃に。何か特殊な病気があるんですよ。

○山中副委員長

風しんが一時はやったときがあったよね。

○宮崎委員

風しんなんかも怖いそうですね。そういうのであって、数は読めないんだよという話を伺ったことがあります。

○山中副委員長

風しんに、インフルエンザもそうでしょう。

○宮崎委員

ウイルス系はみんな。

○山中副委員長

ウイルス系はみんなDNAにいたずらするから。

○宮崎委員

そういうので特学の子供の数が年によって随分違う。何ともないときはそれほどいいですが。多少はいるんですけどね、大体。今年が多いんじゃないかという話をしたことが記憶にあるんです。だから、ウイルスの病気が、お腹の中にいる間にもその時期によって違いもあるらしいので、そういうのもっと研究してもらいたいと思います。教室はあるんですけども、治すことは学校でできない。お医者さんもできていないし、難しい問題だなと思っているんです。

○沼波委員長

また違う話題になってしまいましたけれども。

○宮崎委員

できればそういうのがもっと進んで、かかってしまった子は治らないというか、どうしても後遺症が残ってそういう生活を送らなくてはいけないわけだから、多少なりとも何とかならないかなと思いますけれども。

○沼波委員長

親御さんたちにこういう公民館をもっと積極的に利用していただいて、お友達をつかって、違和感のないようにと思いますけれども。

○山中副委員長

難しいね。親は子供のそういう部分をオープンにしたがらないから。

○沼波委員長

見せたくない。そうですよね。

○染谷委員

報告を見て、これは公民館事業というよりも、行政のほうでタイトルにして取り組むというようなこと。だからすごいなと思いました。演奏のほうにしても。

○山中副委員長

結構、市の広報でもいろいろやっているんだけど、それを必要とする人がそこにすっと入り込んでいくかという、なかなかそうでもないんですよ。

○染谷委員

外に参加するような機会、それをこれからも。

○山中副委員長

結局、親御さんの意識だから。その意識をどうつくれるのか。

○沼波委員長

広報なんかも見やすくつくっていただいているし、各公民館の行事も年代に合わせていろいろあるので、もっと周知してもらえるように、私たちが頑張らないといけないなど

いつも思うのですけど。

○山中副委員長

話は変わるんですけども、同じ意味だろうなと思うのは、児童虐待、高齢者虐待、ご近所の人、気がついたら通報してくださいというのはありますよね。でも、障害を持っているお子さんが、親子が苦勞しているから通報してくださいという制度はないですよね。これは本当に行政の話になってしまうから、この話題ではないけれども、やっぱり他人事ではないなという気がしますよね。

○染谷委員

取組で、中央公民館さんの協力の団体が書かれていますよね。こういうところとの接点というのはどんな形なのか。企画としてすごいなと思いました。

○中央公民館長

地域課題発見ですか。まず、地域課題発見・解決事業につきましては、広くホームページ等に各公民館で受け付けていますというのを、4月にはアップしていたところです。それを見て来られた団体であったり、もう前から分かっている相談に来られる団体。これ以外にもあと数件あったのですけれども、一応話を聞くと、いや、これは違うんじゃないのという内容もありまして、今回のこの障害者の関係と、古文書も新しい利用者層が期待できるのかなということで、この2件については上げさせていただいたものです。

○染谷委員

これだけの団体を、場所提供の中央公民館ということでコラボレーションしているというのがすばらしいですね。

○山中副委員長

海神さんだって聴覚障害者の方のカルタをやっているしね。こういうことでもって少しずつ、地道かもしれないけれども啓蒙普及が進んでいく。障害を持っている人たちに対しての触れ合い方というのは、別に聴覚、視覚関係ないですからね。そういう気持ちを持つということ。どんどん進めていってください。

○沼波委員長

そうですね。本当にオープンな場所だということを知っていただいてね。

いかがでしょうか。大丈夫ですか。

それでしたら、この12月19日から3月31日までの事業報告を承認ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局(中央公民館職員)

今回の会議ですけれども、令和7年4月24日(木)、午後3時から中央公民館第2集会室で予定しております。ご出席くださいますよう、よろしくお願いいたします。

また、令和7年度の審議会日程を配付させていただきましたので、ご確認いただきまし

て、恐れ入りますが日程のほうの確保についてよろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして令和6年度第5回中央公民館運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後4時30分 閉会